

のぞいてみよう！

能勢町のお財布事情

令和2年度決算

能勢町 総務部 理財課



もくじ

はじめに ～「財政」ってなんだろう？～ 2

① 令和2年度の決算はどうなっているの？

- 歳入（収入）について 4～5
- 歳出（支出）について 6～7
- どんな事業にお金を使ったの？ 8
- 過去と比べてみると？ 9

② 他のまちと比べてみると？

- 貯金はどれくらいあるの？（基金残高） 11～12
- 借金はどれくらいあるの？（地方債残高） 13
- 自由に使えるお金の割合はどれくらい？（経常収支比率） 14
- 借金は返済していけるの？（実質公債費比率） 15
- 将来の負担になる借金の割合は？（将来負担比率） 16
- これからどうなっていくの？（収支見込み） 17

③ 能勢町の課題ってなに？

- ①人口減少 19
- ②高齢者の交通対策 20

④ 持続可能な行財政運営を目指して！

持続可能なまちづくりを実現しよう！ 22

おわりに ～住民のみなさまへ～ 23

わたしたちの町の財政について
一緒にみていきましょう！！



お浄（じょう）

るりん

彼女たちは、わがまちの伝統芸能である能勢人形浄瑠璃（じょうるり）をPRしてくれる能勢町公認キャラクターです。

イベントへの出演など、様々な方法で能勢町のPR活動を行っています。

ぜひ応援してくださいね！！

はじめに ～「財政」ってなんだろう？～



「財政」ってなんですか？

地方公共団体が、住民の皆さまに様々なサービスを提供したり、事業を進めるためには、たくさんのお金が必要となります。
そのお金をどのように調達して、どのように使うか決めることを「財政」と言います。

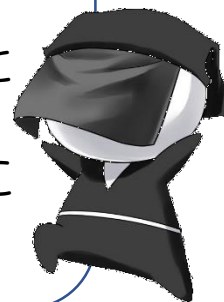


黒太(くろた)



この資料の目的はなんですか？

本町の「財政」を知ることは、『能勢町のお財布事情』を知る、ということになります。それは同時に、本町の課題も分かり、行政と住民の皆さまの双方にとって、とても大切なことだと考えています。
この資料は、財政事情を分かりやすく解説し、本町の現状と課題について、共有することを目的としています。



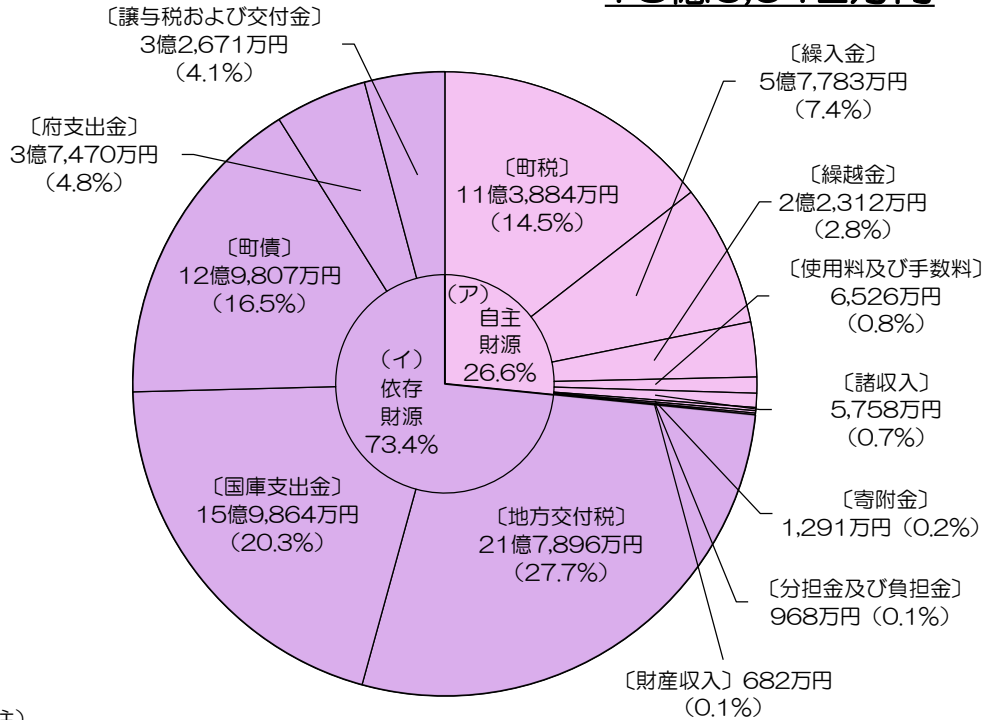
①令和2年度の決算は
どうなっているの？



歳入を見てみよう！

歳入

78億6,912万円



(注) 各費目ごとに四捨五入により算出しているため
円グラフ合計額と総額に違いが生じます。

解説

歳入（1年間の収入）には、町税をはじめ、国からの地方交付税や国庫支出金・府支出金などがあります。その他にも、町債や繰入金など様々な種類の収入によって成り立っています。

グラフを見ると、町税が約15%・地方交付税が約28%・国庫支出金が約20%・町債が約17%となっており、この4種類だけで全体の4/5を占めています。

収入はさらに、(ア) 自主財源と(イ) 依存財源に分けられます。自主財源が多いほど、自主的で安定した行政活動ができることとなります。本町の自主財源は、歳入全体の約3割を占めています。残りの約7割は依存財源になります。

令和2年度の歳入は、前年度よりも**15億円超（約25%）**増加しています。その主な要因は、**依存財源である国庫支出金の増加（10億6,978万円）**となっています。

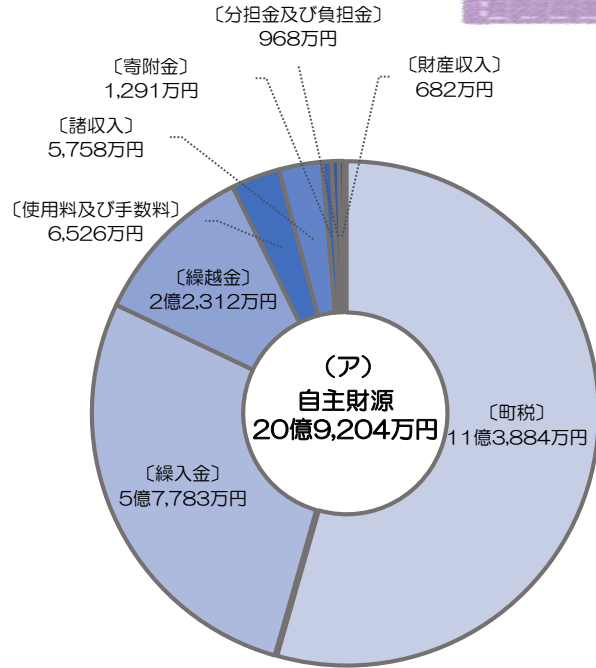
用語説明

- 【町債】 …………… 施設整備や災害復旧をするときに、財源を確保するために借り入れるお金
- 【繰入金】 …………… 経済情勢の悪化や緊急時、計画的な事業の実施時において、事前に積み立てている基金を充てるお金
- 【地方交付税】 …… 地方自治体ごとの税収格差を是正するため、国から配分されるお金
- 【自主財源】 ……… 町税や使用料、手数料、寄附金など、町が自主的に収入できるお金
- 【依存財源】 ……… 国や府から決められた額を交付されるお金

能勢町の収入はどんな感じなんだろう？

町税と地方交付税と町債の割合が大きいわね。
自主財源と依存財源ってなにかしら…？

歳入を分析してみよう！



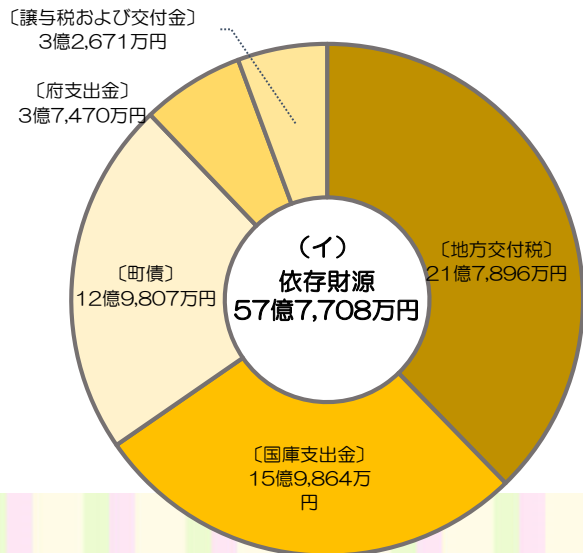
(ア) 自主財源 …P4「用語説明参照」

自主財源の約54%は町税が占めています。近年は人口の減少とともに、町税が減少する傾向にあります。本年度はコロナ禍という状況ではあったものの、前年度から1,067万円の減少にとどまり、ほぼ同水準を確保することができました。しかし、現状から推測すれば、今後も町税は減少していくものと考えられることから、財源確保に向けた、人口増加策や企業の誘致などの取り組みを考えなければなりません。

繰入金と繰越金をあわせた8億95万円は、前年度もしくはこれまでの財政運営により生まれた収支を基金（貯金）へ積み立てるなどし、本町が確保していた財源です。

令和2年度は、公共施設再編整備事業に充てるため、財政調整基金を1億8,800万円切り崩し、また解散した西能勢財産区から清算に伴い1億8千万余りを歳入へ繰り入れたこともあり、前年度から1億4,254万円（約22%）増加しました。

自主財源のほとんどは、上記3つの財源（計19億3,979万円、約93%）で成り立っています。そして、繰入金も繰越金も、もとは町税をやりくりした結果生み出されたものですから、やはり、今後も町税の確保が必要不可欠ということになります。



(イ) 依存財源 …P4「用語説明参照」

本町は、依存財源の割合が全体の歳入のうち約73%と高く、その中でも地方交付税は4割程度（約38%）を占めており、財政を運営していく基盤となっています。

町債や国庫支出金・府支出金は、基本的に、特定の事業を行うために使用するお金です。そのため、本町にとってその事業が本当に必要かどうかを見定め、有効に活用する必要があります。

令和2年度では、国庫支出金が前年度から10億6,978万円増加しています。その要因としては、住民一人当たり10万円を給付した特別定額給付金事業を実施したためです。

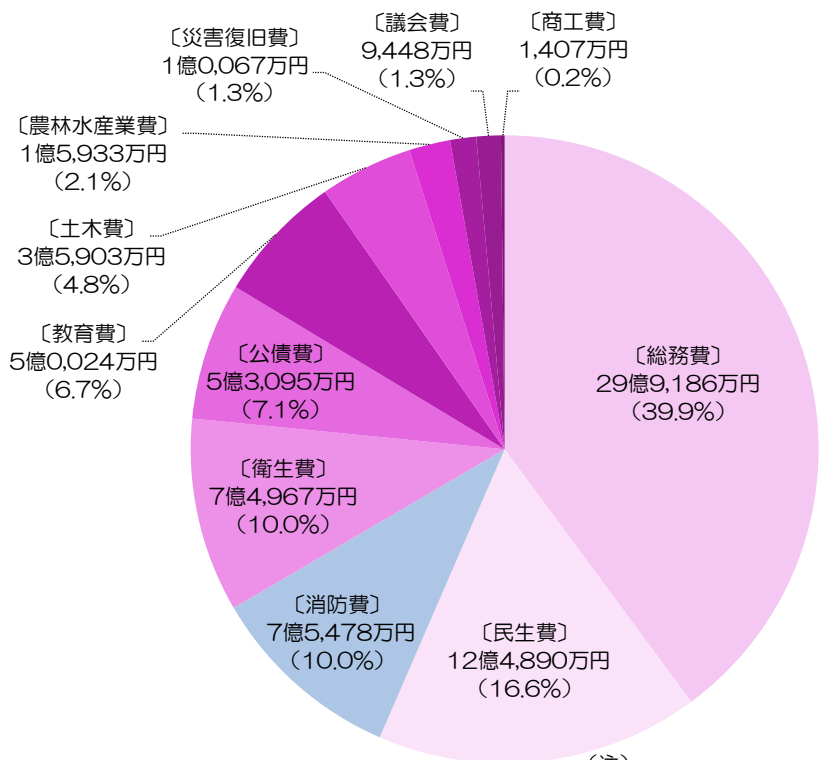
また、町債も公共施設再編整備事業に伴い昨年度より約2億円増加し約13億円となっています。

依存財源の割合が高い本町にとっては、行政サービスの向上に努めるために、今後も、これらの財源を有効に活用していく必要があります。

歳出を目的別にみてみよう！

歳出（目的別）

75億398万円



(注) 各費目ごとに四捨五入により算出しているため円グラフ合計額と総額に違いが生じます。

目的別の歳出って、どんなものなの？
総務費と民生費っていうのが多いみたいだけど…。

解説

歳出（1年間の支出）は、目的別と性質別の2つに分けられます。

目的別とは、各行政分野ごとに分類したもので、町役場の各部・課ごとの仕事の比重を知ることができる分類方法と言えます。

予算をどのような目的で使ったかという視点でみると、公共施設再編整備事業や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業の予算が組まれた総務費が29億9,186万円と前年度より13億円超増加し、全体の約4割となっており、一番多くを占めています。福祉関係予算が組まれている民生費も引き続き、全体に占める割合は約17%と高く、また新消防庁舎整備関係の予算が組まれた消防費は、約2億7千万円増加し全体の10%を占め、歳出の2/3はこの3つの費用で占められています。

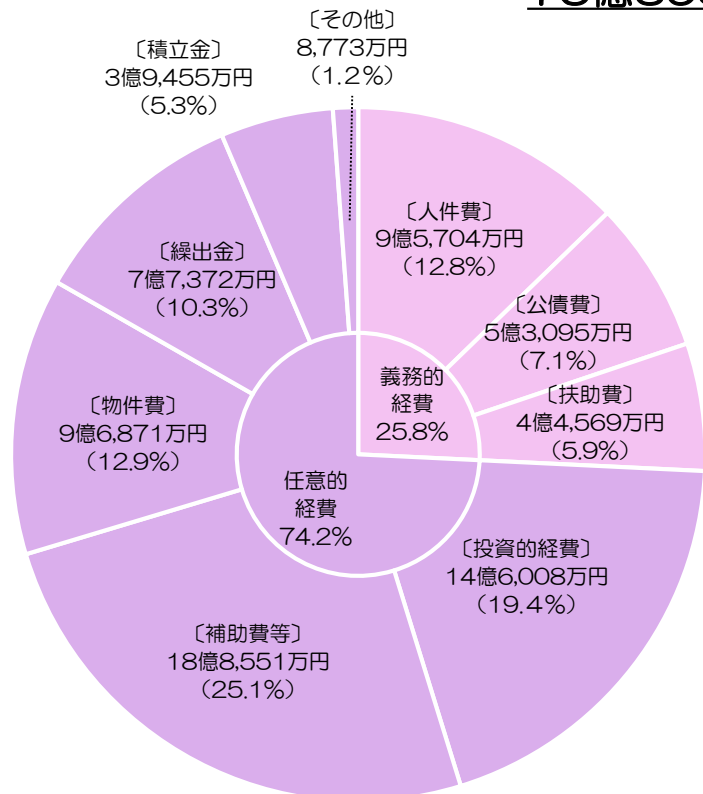
用語解説

- 【総務費】 …… 戸籍管理、選挙、交通安全、町税の賦課徴収などにかかるお金
- 【民生費】 …… 子どもや高齢者、障がい者などの福祉サービスにかかるお金
- 【消防費】 …… 消防、防災事業などにかかるお金
- 【公債費】 …… 町の借金を返済するためのお金

歳出を性質別にみてみよう！

歳出（性質別）

75億398万円



(注) 各費目ごとに四捨五入により算出しているため円グラフ合計額と総額に違いが生じることがあります。

解説

性質別とは、経費を人件費や物件費などに分類することをいいます。

その中でも、人件費・扶助費・公債費は、「義務的経費」と言い、その支出が義務づけられ、簡単に削減することができない費用を指します。

そのほかに「投資的経費（道路、橋りょう、公共施設建設事業、災害復旧事業など）」と、「その他の経費（物件費、補助費等、繰出金など）」に分類され、この2つをあわせて「任意の経費」と言います。

義務的経費が増加すると、任意の経費に使えるお金が減少します。つまり、自由に使えるお金が少なくなってしまう、ということになります。

令和2年度は、前年度に比べ、特別定額給付金事業などにより補助費等が10億7,724万円増加しています。また、公共施設再編整備事業等により、投資的経費が約14億6千万円となっています。

用語解説

- 【人件費】 …… 職員の給与・退職手当や議員報酬等
- 【扶助費】 …… 高齢者・障がい者・児童などを援助するためのお金
- 【補助費等】 …… 他の地方公共団体や国、法人等に対する助成金や負担金
- 【繰出金】 …… 一般会計と特別会計などの会計間で、一方の会計の収支不足を補うために、他方の会計に支出するお金
- 【物件費】 …… 物品の購入や光熱水費、委託料など、消費的性質のお金

性質別の歳出って、どんなものなの？
義務的経費と任意の経費って何かな？

どんな事業にお金を使ったの？

役場新庁舎新築事業・・・5億9,900万円

役場庁舎の老朽化対策と、廃校になった町立久佐々小学校跡地の有効活用のため、旧校舎を解体しその跡地に新庁舎を建設しました。

庁舎は、災害などが発生した時には、避難所・災害対応拠点として機能します。

※当事業費は、R1年度からR2年度にかけて実施する建築工事関係費のうちR2年度実施分です。



新しい庁舎は、
令和3年5月1日
に開庁したよ。



消防庁舎新築事業・・・3億3,900万円

(新消防庁舎外観)



いざというときも、
安心だね。



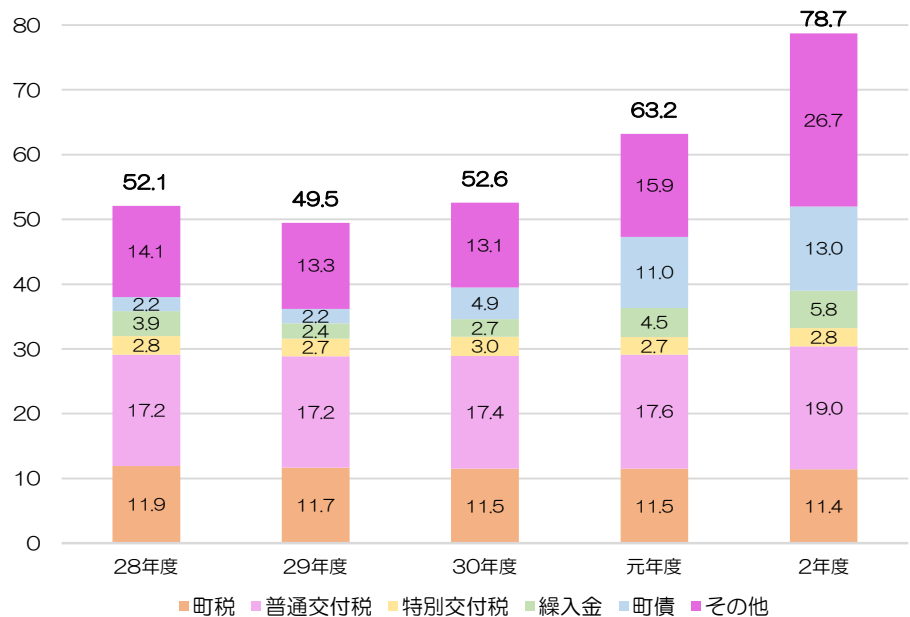
平成28年度から豊中市との消防の広域化が始まりましたが、消防施設及び常備設備のさらなる拡充をめざし、消防体制を充実させる目的で能勢町分署を新設しました。

※当事業費は、R1年度からR2年度にかけて実施する建築工事関係費のうちR2年度実施分です。

過去と比べてみると？

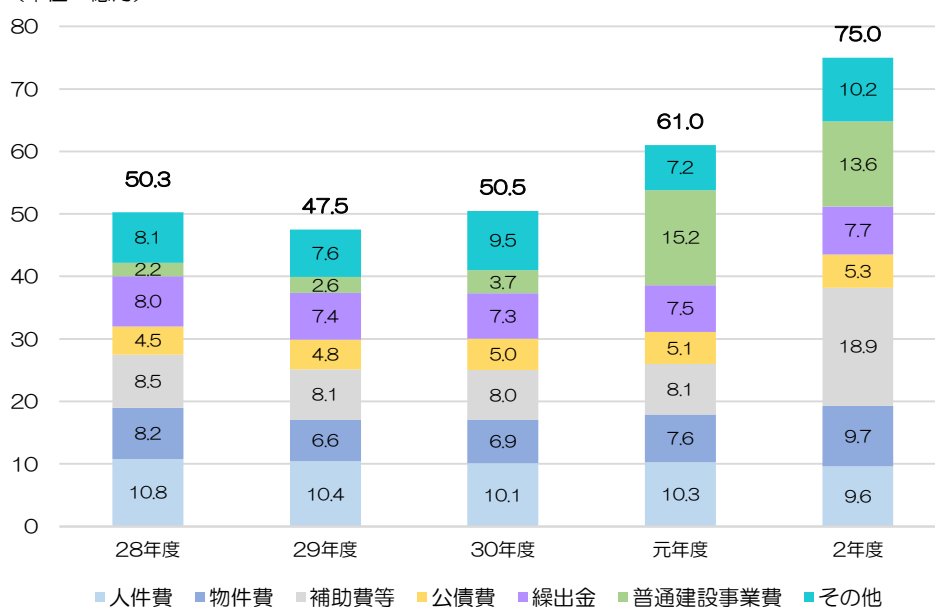
歳入推移

(単位：億円)



歳出（性質別）推移

(単位：億円)



解説（歳入）

平成28年度から3年間は普通建設事業を控えていたこともあり、比較的大きな変動は見られません。令和元年度から、公共施設再編整備事業に着手し役場新庁舎や消防新庁舎の建設に本格的に取り掛かったことから、町債や繰入金が増加し、加えて令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を国庫補助事業として実施したため、令和元年度、2年度においては、歳入が大きく増加しました。

解説（歳出）

歳入と同じ理由で、令和元年度、2年度は歳出が多くなっています。普通建設事業が増加すると、相当分の歳出が増加することになります。

普通建設事業以外は、平成28年度以降ほぼ横ばいで推移していますが、令和2年度は特別定額給付金事業により補助費等が大幅に増加しています。また公債費は少しずつ増加を続けており、今後もしばらくは増加を続けていくものと予測されています。

②他のまちと比べてみると？



貯金はどれくらいあるの？（基金残高）①

基金の設置状況

※R2年度末残高

財政調整基金……………12億4,777万円

- ・年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うための基金。（S41年3月設置）

環境基金……………713万円

- ・環境保全の活動などに充てるための基金。（H14年3月設置）

地域農業活性化基金……………325万円

- ・農業振興などに充てるための基金。（H15年7月設置）

地域福祉基金……………8,512万円

- ・地域福祉の振興に充てるための基金。（H3年12月設置）

町営住宅管理基金……………1,226万円

- ・町営住宅の維持管理に充てるための基金。（H16年3月設置）

退職手当基金……………1億863万円

- ・退職手当に充てるための基金。（H4年3月設置）

災害対策基金……………3,847万円

- ・災害が発生した時に緊急対応に充てるための基金。（H7年3月設置）

芸術文化振興基金……………1,629万円

- ・伝統芸能等能勢文化の創造に充てるための基金。（H6年3月設置）

森林環境譲与税基金……………1,359万円

- ・森林環境の整備に充てるための基金。（R元年9月設置）

能勢町西能勢振興基金……………1億8,348万円

- ・西能勢財産区が存した地域の住民福祉の増進などに充てるための基金。（令和2年12月設置）

解説

令和2年度から新たに能勢町西能勢振興基金を新設し、全部で**10の基金（貯金）**になり、大きく分けると次の2種類になります。

①財政調整基金

不測の事態による突然の支出や、景気の悪化によって収入が減ったときなど、財源が不足する年度に活用するものです。

②特定目的基金

決まった目的に沿って、計画的に事業等が実施できるよう、特定の使い道に限って取り崩すことができるものです。

基金残高の合計は、令和2年度末では**17億1,599万円**、そのうち財政調整基金は12億4,777万円で、令和元年度末と比べると、1億253万円減少しています。

どうして貯金するんだろう？

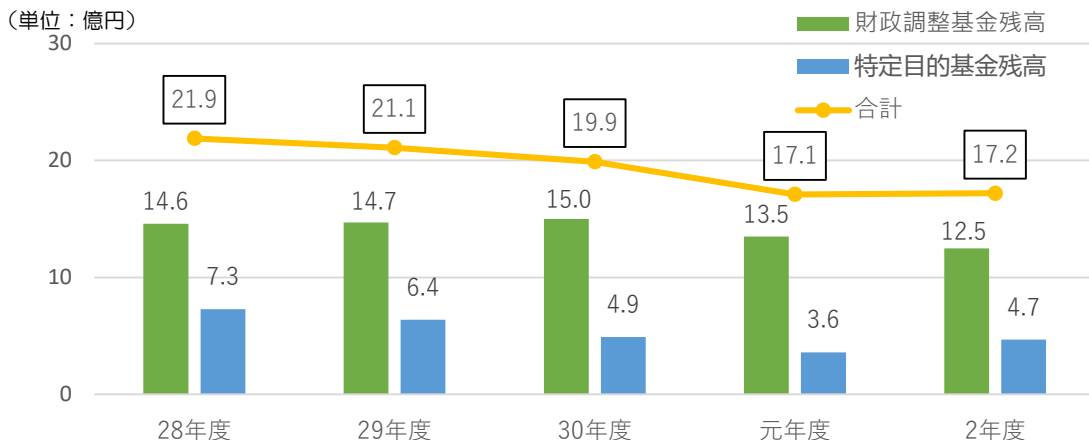
町税などの収入は、経済状況により変化するため、常に一定ではありません。また、地震や台風などの災害や、急激な経済情勢の悪化など、不測の事態が生じる年もあります。

そのような時であっても、自治体は安定した住民サービスを継続して提供していく必要があります。その財源として活用できるよう、貯金をしています。

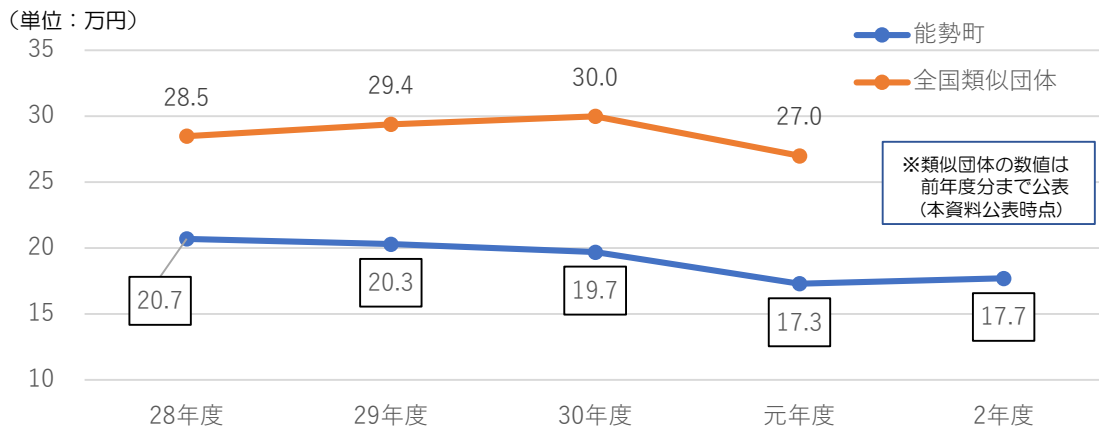


貯金はどれくらいあるの？（基金残高）②

基金残高の推移比較



一人当たり基金残高の推移比較



解説

令和元年度末の財政調整基金の残高は、前年度末に比べて、約1億円減少しました。この要因は、役場庁舎と消防庁舎の新築事業に取り組んだことにより財源補てんを行ったためです。

また、特定目的基金は前年度末に比べて約1億1,000万円増加しています。その要因としては、退職手当基金を6,400万円、災害対策基金を5,700万円取り崩したものの、能勢町西能勢振興基金を設置し約1億8,000万円を積立てたことが挙げられます。

また、住民一人当たりの基金残高は、前年度末に比べて約4,000円増加しました。

全国類似団体と比較して少ないのは、上で述べた特定目的基金が少ないことが影響しています。

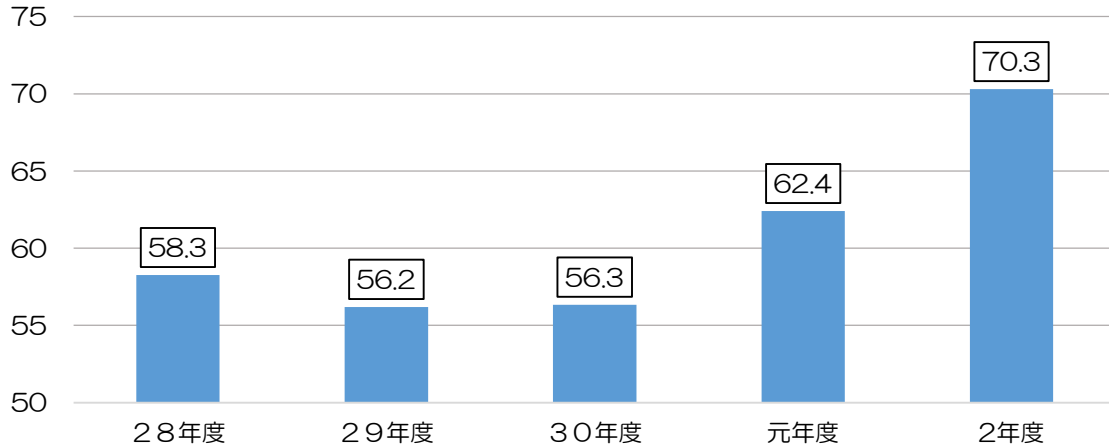
用語説明

【全国類似団体】
総務省により、人口と産業構造の2要素の組合せによって分類される類型区分。
本資料では、本町との数値比較のために使用しています。

借金はどれくらいあるの？（地方債残高）

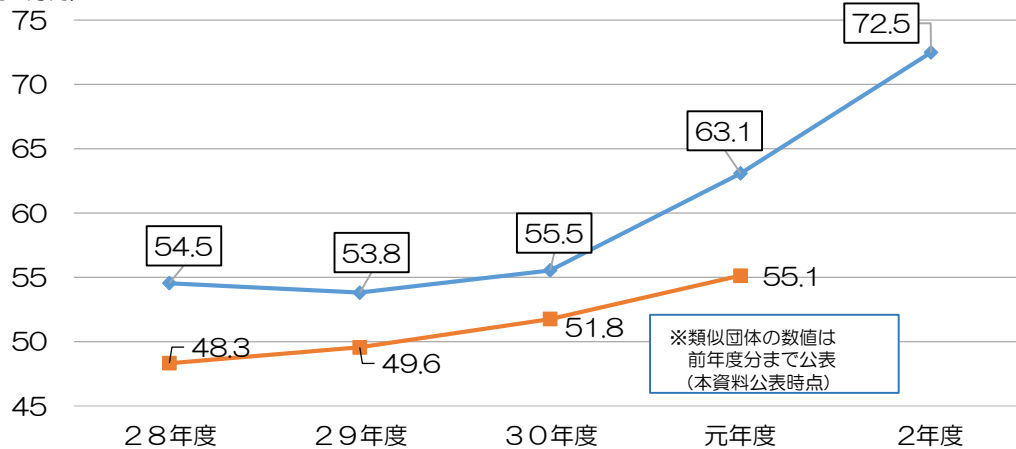
地方債残高の推移

（単位：億円）



一人当たり地方債残高の推移比較

（単位：万円）



解説

町債（地方債）は、建物や道路など、何年も使うような大きな施設の整備事業や、災害など緊急に対応しないといけないときに、町独自に借りるお金のことです。

新学校建設により借入れを行ったため、平成27年度には、地方債残高は60億を超えていましたが、その後、できる限り借入れを控え56億円まで減少しました。

令和元年度より公共施設再編整備事業に本格的に着手し庁舎建設事業など大規模な建設事業を実施したことにより70億円を超え、約70億3,000万円にまで増加しました。

類似団体に比べると、令和元年度では、一人当たり約8万円負担額が多く、これは、令和元年度に、新庁舎および新消防庁舎の建設に8億円以上借りたことが大きく影響しています。今後さらに、町人口が減少しているため、一人当たりの負担額は多くなる傾向にあります。

どうして借金するんだろう？

道路や学校などの公共施設は、数十年利用されます。

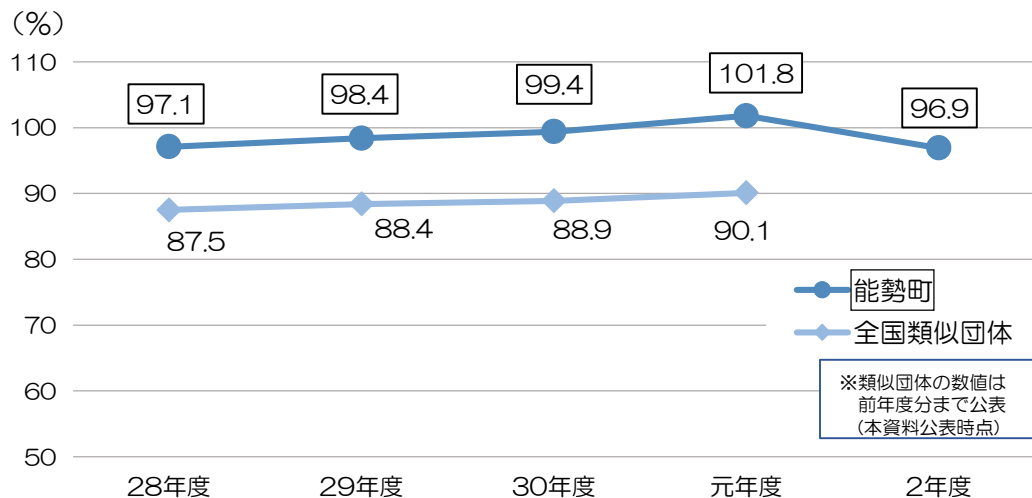
建設した世代の住民だけで建設費を負担すると不公平になるので、分割払いにすることで負担を平等にしています。

また、支払いを均等にすることで、公共施設を建設した年度に、他の事業ができなくなることを防ぐ役割もあります。



自由に使えるお金の割合はどれくらい？（経常収支比率）

経常収支比率の推移



町税や地方交付税などの毎年度見込まれる収入（経常収入）が、人件費や公債費などの義務的な経費（経常経費）に充てられる割合を表す比率です。

「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標であり、この比率が高くなるほど、新しい事業や貯金に使えるお金が少ない状態と言えます。



財政に余裕があるかどうか分かるんだね！

私たちの町は、全国類似団体と比べて数値が少し高いけど、今年は少し下がったみたいだね。



解説

令和元年度の経常収支比率は101.8%となり、本町で初めて100%を超える結果になりましたが、今年度は、地方交付税が大きく増加し、歳出の抑制に努めたことなどから、前年度に比べて4.9%低い96.9%になりました。しかしながら今後は大きな低下は見込まれず、90%後半の水準で推移する見込みです。

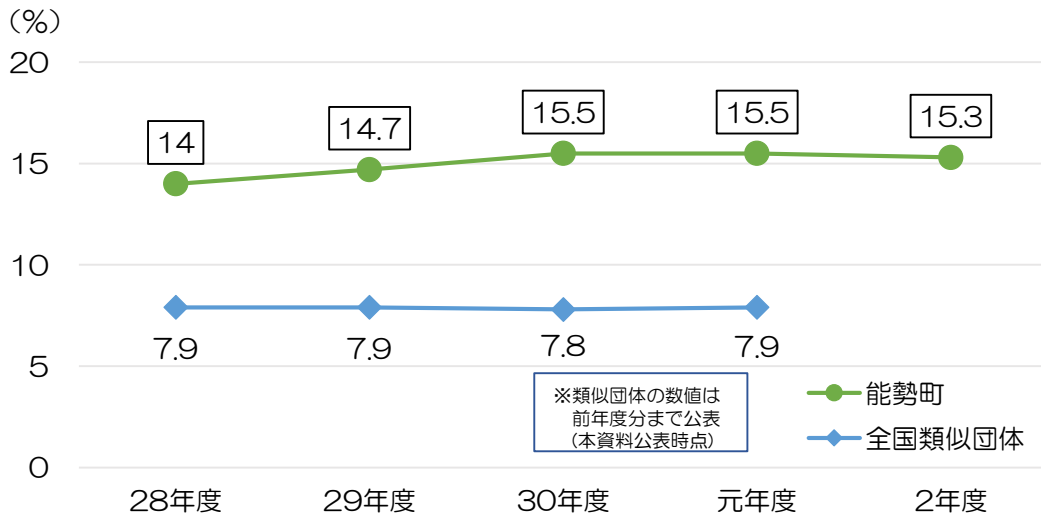
数値が今後も高くなる原因は、

- ①支出について、以前に借り入れた町債の返済（公債費）が増加していること
- ②電算関係経費をはじめとする物件費が年々増加していることなどが挙げられます。

全国類似団体と比べて、10%以上高い主な要因は、ごみ処理施設（豊能町・兵庫県川西市・猪名川町と運営している国崎クリーンセンター）や常備消防（豊中市と共同で実施）のような、広域化事業による負担金が多いことや下水道事業特別会計への繰出しが多いことです。

借金は返済していけるの？（実質公債費比率）

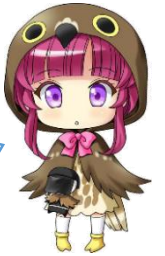
実質公債費比率の推移



町債の返済金（公債費）が、その年度の収入に占める割合を表す比率です（数値は3ヶ年平均）。

「借金返済にどのくらい支払っているのか」を示す指標であり、この比率が高くなるほど、借金返済の支出が多く、財政の硬直化が進んでいる状態と言えます。

上手く資金繰りができているかどうか分かるってことね！
私たちの町は、全国類似団体よりも数値が少し高いなあ。
今後はどうしていくんだろう？



解説

令和2年度の実質公債費比率は15.3%で、前年度から0.2%改善しています。

この数値が18%を超えると危険信号とみなされ、町債の発行について制限を受けることになってしまいます。

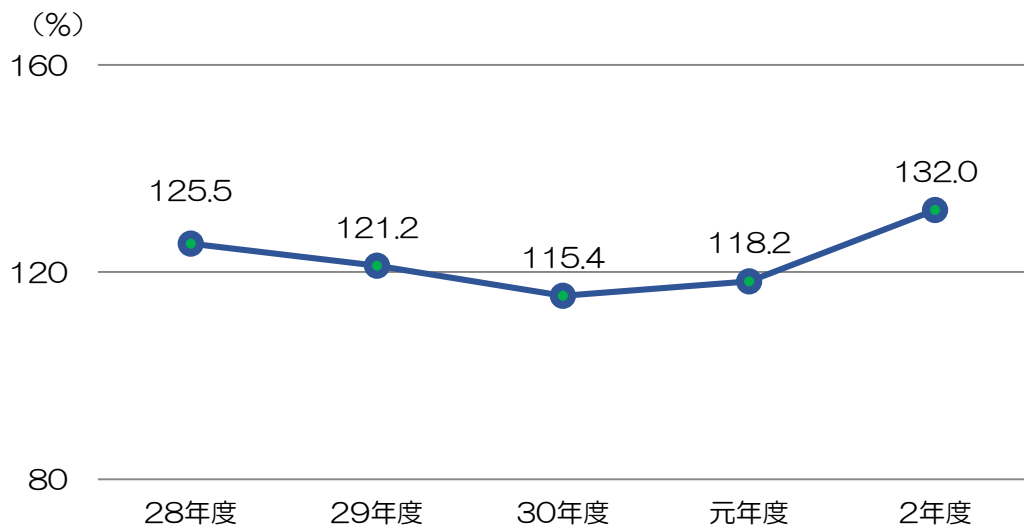
本町は、18%の危険基準は超えていないものの、全国類似団体と比較すると数値が高い状態となっています。

そのため、今後としては、新規事業を行うときは、町債の発行を最小限に抑えつつ、企業誘致を進めるなど、税収増を図っていき、地方債に過度に依存しない財政運営に努める必要があります。



将来の負担になる借金の割合は？（将来負担比率）

将来負担比率の推移



この先、負担しなければならないお金（町債など）が、その年度の収入に占める割合を表す比率です。

「将来的に財政が圧迫されるか」を示す指標であり、市町村では**350%が危険基準**とされています。

私たちの町は、危険基準の**350%**よりも数値が低いけど、**100%**は超えてるのね。比率は悪化傾向だけど、将来、財政は圧迫されたりしないの？



解説

令和2年度の将来負担比率は**132.0%**で、前年度に比べ、**13.8%悪化**しました。

この数年間は、町債の発行額より償還額が上回っていたことから少しずつ改善していました。令和元年度より公共施設再編整備事業に伴う町債の発行が増加したことが比率が悪化した主な要因です。

現在取り組んでいる公共施設再編整備事業が完了するまでの間は比率が上がる可能性が高い、と言えます。

この数値が350%を超えると、危険信号とみなされ、早急に財政運営の健全化に取り組まなければなりません。

本町は現在、350%の危険基準は超えていませんが、100%は超えているため、将来負担を見据えて、町債を発行する建設事業を計画的に実施することによって、財政の健全化に努めていく必要があります。



これからどうなっていくの？（財政収支見通し）



今から、10年後にはどうなってるのかしら？
私たちが大人になった時の能勢町は、今より
良くなっているの？

令和12年度までの収支見込

【歳入】																						(単位:百万円)		
区分	令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率
町税	1,150	0.0	1,139	△ 1.0	1,035	△ 9.1	1,066	3.0	1,040	△ 2.4	1,003	△ 3.6	980	△ 2.3	957	△ 2.3	924	△ 3.4	903	△ 2.3	883	△ 2.2	853	△ 3.4
地方交付税	2,031	△ 0.1	2,179	7.3	2,292	5.2	2,272	△ 0.9	2,248	△ 1.1	2,256	0.4	2,244	△ 0.5	2,245	0.0	2,247	0.1	2,248	0.0	2,227	△ 0.9	2,189	△ 1.7
普通交付税	1,760	1.3	1,904	8.2	2,022	6.2	2,002	△ 1.0	1,978	△ 1.2	1,986	0.4	1,974	△ 0.6	1,975	0.1	1,977	0.1	1,978	0.1	1,957	△ 1.1	1,919	△ 1.9
特別交付税	271	△ 8.8	275	1.5	270	△ 1.8	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0	270	0.0
繰入金	449	65.1	578	28.7	168	△ 70.9	191	13.7	314	64.4	349	11.1	17	△ 95.1	7	△ 58.8	118	1,585.7	95	△ 19.5	248	161.1	130	△ 47.6
その他	2,682	71.6	3,973	48.1	2,851	△ 28.2	1,571	△ 44.9	1,578	0.4	1,797	13.9	1,537	△ 14.5	1,538	0.1	1,537	△ 0.1	1,537	0.0	1,538	0.1	1,534	△ 0.3
歳入合計	6,312	20.1	7,869	24.7	6,346	△ 19.4	5,100	△ 19.6	5,180	1.6	5,405	4.3	4,778	△ 11.6	4,747	△ 0.6	4,826	1.7	4,783	△ 0.9	4,896	2.4	4,706	△ 3.9
【歳出】																								
区分	令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率
人件費	1,030	2.5	957	△ 7.1	1,046	9.3	991	△ 5.3	990	△ 0.1	1,004	1.4	999	△ 0.5	1,004	0.5	1,050	4.6	1,022	△ 2.7	1,121	9.7	995	△ 11.2
うち退職手当	103	83.9	65	△ 36.9	64	△ 1.5	16	皆減	16	-	22	皆増	0	△ 100.0	0	皆減	42	皆増	18	△ 57.1	112	522.2	4	△ 96.4
物件費	755	8.8	969	28.3	1,014	4.6	794	△ 21.7	809	1.9	785	△ 3.0	765	△ 2.5	765	0.0	765	0.0	765	0.0	765	0.0	765	0.0
補助費等	808	1.1	1,885	133.3	906	△ 51.9	795	△ 12.3	773	△ 2.8	773	0.0	740	△ 4.3	727	△ 1.8	712	△ 2.1	711	△ 0.1	705	△ 0.8	691	△ 2.0
公債費	513	2.8	531	3.5	565	6.4	591	4.6	599	1.4	566	△ 5.5	527	△ 6.9	496	△ 5.9	496	0.0	498	0.4	502	0.8	462	△ 8.0
繰出金	752	3.4	774	2.9	784	1.3	776	△ 1.0	796	2.6	793	△ 0.4	796	0.4	809	1.6	796	△ 1.6	787	△ 1.1	801	1.8	786	△ 1.9
普通建設事業費	1,061	186.8	1,359	28.1	1,189	△ 12.5	323	△ 72.8	384	18.9	655	70.6	115	△ 82.4	115	0.0	166	44.3	166	0.0	166	0.0	166	0.0
補助事業費	62	31.9	51	△ 17.7	79	54.9	64	△ 19.0	68	6.3	76	11.8	22	△ 71.1	22	0.0	22	0.0	22	0.0	22	0.0	22	0.0
単独事業費	968	213.3	1,266	30.8	1,081	△ 14.6	253	△ 76.6	308	21.7	564	83.1	91	△ 83.9	91	0.0	141	54.9	141	0.0	141	0.0	141	0.0
その他	1,170	54.8	1,029	△ 12.1	690	△ 32.9	669	△ 3.0	671	0.3	672	0.1	675	0.4	676	0.1	679	0.4	680	0.1	682	0.3	683	0.1
歳出合計	6,089	20.8	7,504	23.2	6,194	△ 17.5	4,939	△ 20.3	5,022	1.7	5,248	4.5	4,617	△ 12.0	4,592	△ 0.5	4,664	1.6	4,629	△ 0.8	4,742	2.4	4,548	△ 4.1
歳入歳出差引(累計赤字)	223	6.2	365	63.7	152	△ 58.4	161	5.9	158	△ 1.9	157	△ 0.6	161	2.5	155	△ 3.7	162	4.5	154	△ 4.9	154	0.0	158	2.6
単年度(繰越金除)収支	△ 6		17		△ 19		9		△ 3		△ 1		4		△ 6		7		△ 8		0		4	
財調現在高(年度末)	1,350	△ 7.8	1,248	△ 7.6	1,258	0.8	1,178	△ 6.4	968	△ 17.8	728	△ 24.8	798	9.6	878	10.0	888	1.1	898	1.1	758	△ 15.6	718	△ 5.3
特目現在高(年度末)	355	△ 44.5	468	31.8	397	△ 15.2	382	△ 3.8	374	△ 2.1	361	△ 3.5	371	2.8	380	2.4	349	△ 8.2	340	△ 2.6	328	△ 3.5	334	1.8



この先、義務的経費（人件費・公債費など）をどれだけ抑制できるかが大事なポイントになってきます。その意味では、公債費のピークが令和5年度なので、まずは、そこを乗り越えるための蓄え（財政調整基金繰入金）が必要です。

現在の見込みでは、令和12年度までは財政調整基金はなくなり、財源が不足した時に補てんに充てられるので、資金繰りはできるでしょう。

この表を見ると、なんとなくだけど、お財布事情がわかる気がするわ。



③能勢町の課題ってなに？



能勢町の課題ってなに？①

課題① 人口減少

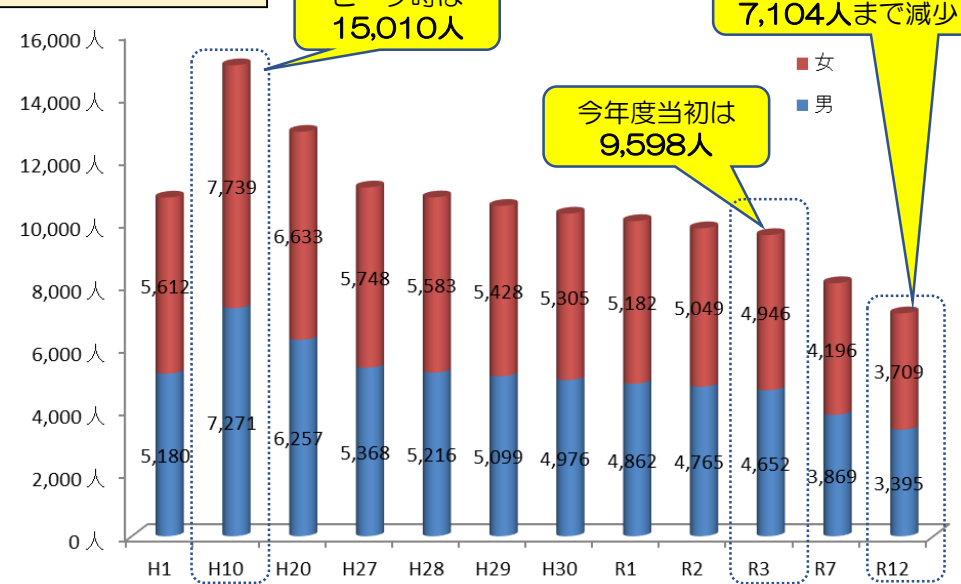
人口減少は、日本全体で起こっている課題ですが、能勢町も例外ではありません。能勢町の人口は、平成10年度のピーク時までは増加していましたが、それ以降は減少を続けており、令和2年度末までの23年間で**5,412人（36.1%）**も減っています。

令和元年5月1日現在に人口が1万人を割ってから、減少傾向は止まらず、さらに出生数も少ないため、令和12年には7,104人に落ち込むと予想されています。

人口の増減は、財政基盤である町税の収入額にも左右します。本町は、平成10年からの約20年間で人口減少に伴い、**町税の収入が11.4%減少**しています。税収の減少し自由に使える財源が限られた場合は、住民ニーズを踏まえ、施策・事務事業の選択と集中を図ることなどによって行政のスリム化を図る必要があります。

また人口ピーク時に合わせて作られた公共施設の適正配置について検討するなど、行財政運営のあり方を抜本的に見直す必要があります。

能勢町の人口推移



※ R3までは4月1日現在の人口、R7以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計

今後はどうしていくの？

このまま人口減少が続き、過疎化してしまわないよう、行政として対策を講じていきます。

能勢町の自然の豊かさや文化などの魅力発信や、I・Uターン人口の増加への取組みなどを通じて、地域活性化につながるまちづくりをしていきます。

また、人口減少社会に合わせた行政のスリム化や、老朽化していたり、あまり使われていない公共施設の集約化・複合化（公共施設再編整備）などを進め、歳出を抑えることで、持続可能な行財政運営を目指していきます。



能勢町の課題ってなに？②

課題② 高齢者の交通対策

能勢町には電車が通っていないため、住民の、特に高齢者の重要な交通手段の一つとして、民間バスが運行されています。

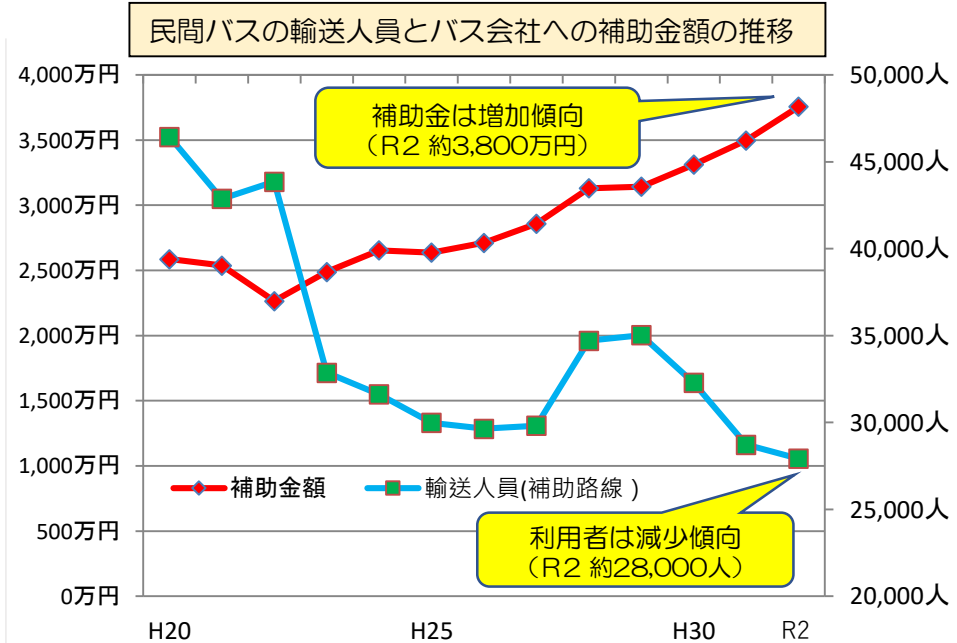
しかし、人口減少に伴い、民間バスの利用者も減ってきています。

民間バスを運行させるにあたり、能勢町から民間バス会社へ赤字額を補助しているのですが、右のグラフのとおり、民間バスの利用者は減少し、補助金は増加しています。つまり、町からの支出が年々大きくなっている状態です。

※補助路線は、妙見口能勢線と西能勢線のうち「宿野～豊中センター」「宿野～口山内」です。

※令和2年度は赤字額への補助金に加えて、運行本数維持等のため約1,800万円を補助しています。

補助金（赤字）が大きくなるにつれ、それを圧縮するため、民間バスの運行範囲・本数も、以前に比べて随分と縮小されました。そのため、公共交通空白地と呼ばれる、公共交通がない地域や、あっても運行本数が少なくて使いづらい地域など、移動に不便な場所が生じています。



今後はどうしていくの？

現在のバス路線の状態を維持し続けていくことは、増加する補助金を考えると財政的には困難と言えます。高齢者の方々の大切な交通手段を確保していくためにも、財政的に持続可能な手段をとらなければなりません。現在、地域公共交通会議を設置し、デマンドタクシーなどの新しい交通手段を検討している最中です。移動ニーズを踏まえて検討し、内容については随時情報を発信していきます。



④持続可能な行財政運営
を目指して！



持続可能なまちづくりを実現しよう！



なぜ取組が必要なの？

「まちの将来像」を構成する学校再編整備、火葬場建設、消防常備化が実行段階を迎えた平成26年3月に、人口減少等による財政規模の縮小を踏まえたうえで、「行財政改革プログラム」を策定し、行財政改革に取り組みました。その結果、大型投資事業を実現しつつ、財政調整基金（町の貯金）も平成27年度末時点で15億円余り確保しました。

その後も人口は減少し、超高齢社会を迎えるなか、行財政改革の取組を継承しつつ、将来を見据え、公共施設の再編整備事業に着手しました。公共施設の適正配置を行うことで、維持管理経費を抑制し、且つ行政サービスを効果的に提供できるよう取組を進めています。加えて人口減少等による地域力の低下、アフターコロナにおける行政需要に対応するため、既存事業の再構築が必要です。

将来世代に負担を先送りせず、持続可能な行財政運営を目指さなければなりません。

どのような取組をしているの？

持続可能な街づくりに向けて、能勢町では次のような取組を進めています。

- 総人件費の抑制
- 経常経費の削減及び業務改善
- 事務事業の精査
- 公共施設等総合管理計画の推進
- 社会保障経費の抑制（健康長寿プロジェクト）
- 地域共生社会・地域包括ケアシステムの実現

持続可能なまちづくりって、なんだか難しい。
でも必要なことなんだね！



みんなで前進、「できること」はなに？

みなさんの協力で持続可能なまちづくりは、前進します！

- 「いきいき百歳体操」に参加して介護予防を目指しましょう！（新型コロナウイルス感染症で現在自粛されていますが…）
- 「のせけん」（能勢町・大阪大学・オムロンヘルスケア社と共同で行う世界的な研究）に参加して血圧を測定し健康寿命を延ばしましょう！
- 「我が事・丸ごと」で地域の課題をみんなで話し合い、公的支援と協働して、地域課題の解決をめざしましょう！

おわりに ～住民のみなさまへ～

能勢町の財政事情は、厳しい状況が続いている中で、事務事業の精査や見直しを行い、その都度、住民の皆様にご理解とご協力をいただき、将来世代に負担を先送りすることなく、行財政運営の持続性を高めてきたところです。

現状は、財政基盤である町税が人口減少・高齢化等により減収する中で、経常経費の抑制に努めなければなりません。

また、耐用年数を迎える公共施設は、老朽化が進み、その維持管理費も年々増えているため、そのあり方（集約化・複合化）についても検討していかなければいけません。

他にも、地域共生社会の実現やダイオキシン処理対策、そして新たに世界中を不安に陥れている新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式への取り組みが加わり、課題は山積している状況です。

このような状況からも、能勢町は、今まさに、変革期を迎えています。

行政のあり方を見直しつつも、住民サービスを低下させることのない、実りある改革に努め、住み続けることができる、住み続けたい「能勢町」を実現してまいります。

住民のみなさまにも、本町の現状と課題を共有していただき、これまで同様、引き続きご理解・ご協力をいただき、能勢町を私たちと一緒に守り続けてくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



**わたしたちのまち、能勢町の未来について
これからも一緒に考えていきましょう！！！！**

能勢町
NOSECHO
OSAKA NO
TEPPEN

おおさかの
てっぺん